

紫波

人と地域をつなぐ広報紙

SHIWA-NET
ネット

4
No.861 | 2013

表紙の
写真

佐比内保育所(藤沼真紀子所長)の入所式は4月3日、同所で行われ、2～5歳の児童21人が入所しました。このうち7人は新入所。式中には、5歳児による歓迎太鼓の演奏や手遊びなどが行われ、児童たちは、元気いっぱいに新生活をスタートしました。



特集
02

新しい公共の実現を目指して —町長所信表明—



町の話題 100歳のお祝い



町の話題 素人そば打ち大会



町の話題 鮭の稚魚放流

もくじ

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 06 町の予算 | 15 町の人事 |
| 115億8480万円の使い道は？ | 16 健やかランド紫波 |
| 10 みなさんのおかげでした大縁会 | 24 シリーズ行ってみよう |
| 12 環のくに紫波 | 移動図書館かたくり号から見える町の風景 |



新しい公共の実現を目指して 新たな「紫波町づくり」を 進めましょう

道元禅師は「身 初心なるを顧おもことなかれ」という言葉を残されています。ひと度挑戦したからには、初心を忘れることなく初心を貫く決意が必要であるということです。今、町の置かれている状況を踏まえ、初心を忘れることなく、難局を切り開きながら、みんなで限りなく発展する「紫波町づくり」に取り組みしましょう。



東日本大震災発災からはや2年が経過しようとしています。そして、町内には1月末日現在で、被災者169人71世帯の方々が避難されています。昨年12月末現在、県内の行方不明者1171人、全国で2700人の方々がまだ帰らぬ人となっています。未だに傷痕癒えぬ皆様に、あらためて哀悼の誠を捧げ、一日も早い復興と心の安寧が訪れることを願ってやみません。

さて、地方自治体は、少子高齢化で人口が減少しています。国内の平成24年の出生者数は103万3千人で前年比1万8千人の減となり、人口は21万2千人の自然減となる見込みです。2060年には日本の人口が8674万人にまで減少すると見られています。

当町は、平成22年国勢調査結果では総合計画の予想より40人増加しておりますが、少子高齢化が進む中で、どのようなまちづくりと政策で人口を維持して行くかを念頭に、政策を「進化」することから「深化」することに努力すべきであるといわれています。

また、地域コミュニティの活性化に住民が敏感になっています。情報社会の中でまちづくり政策が公開され、賛同する人も拒否する人も自由に往来し

ながら、個性あふれるまちづくりで人口を集積させることが重要です。

貿易自由化を目指す環太平洋経済連携協定(TPP)は、聖域なき関税撤廃が参加の前提でしたが、重要品目は例外が認められることとして、交渉に加わるかどうかが決定されようとしています。いずれにしても農業に対する影響は大なるものがあることから、今後とも動向を重視しながら対応します。

農林水産省は、省内に大臣を本部長とする「攻めの農林水産業推進本部」を設置しました。

また国は、本格的な経済再生に向けて「日本経済再生本部」を設置して政策を打ち出しました。大型補正予算が編成されたことにより、その効果が期待されることです。

県内では、東北全体の発展と復興の象徴、そして新たな産業創出として、国際リニアコライダー(ILC)の誘致を目指しており、ぜひ実現してほしいものです。

町がにぎわえば町の価値が向上します。現在の商店街についてもオガールプロジェクトエリアとして、順次取り組んでいきます。



まちづくり5つの柱

町がにぎわえば町の価値が向上します。今はまさにその時。未来の紫波町に向けた新しい歴史のはじまりです。

以下、5点について申し述べます。

2

再生可能エネルギーを活用し 産業が共栄するまちをつくります

- 【再生可能エネルギーの活用】環境保全と併せて積極的に取り組みを推進
- 【エネルギーステーションの開設】一部のオガールエリアへの冷熱供給
- 【「省エネルギーサポートセンター」(仮称)の設置】省エネ住宅の拡大推進と町内技術者の養成、雇用の拡大、産業の創出を実践
- 【紫波町農業再生協議会】水田農業推進協議会、担い手育成総合支援協議会、耕作放棄地対策協議会を統合
- 【農業経営基盤の強化に関する基本構想】おおむね5年ごとにその後10年間にについて、担い手の効率的かつ安定的な農業経営の指標や、農業構造の目標を明らかにする
- 【えこ3センター】生産量を増やしながら効率的に製品を製造するため施設を改修
- 【森林経営計画】森林組合と一体となりながら、町内6団地、町外1団地で計画の策定準備を推進し、森林経営の確立を目指す／盛岡森林管理署管内初の「民国連携」を赤沢団地で取り組む
- 【平成28年度に紫波、稗貫衛生処理組合が施設を解体】新たに矢巾町と当町で今後の施設整備や運営について検討
- 【企業の森事業】現在の7団体から、さらなる拡大と新たな展開を目指す

1

町民が健康で安心して 暮らせるまちをつくります

- 【第2期紫波町特定健康診査等実施計画】健診受診率
平成24年=54.47%→平成25年度=56%目標
- 【国民健康保険制度】医療費が増大→上昇率を5%以内に維持
- 【介護保険制度と後期高齢者医療制度】要介護認定者数ならびに後期高齢者の延べ利用者数、サービス給付額ともに増加→関係機関と対応を協議
- 【紫波町地域福祉計画】平成25～29年度の5カ年計画で策定
- 【子育て支援事業】「次世代育成支援計画」の後期計画中間年→「地域の笑顔は子どもの未来」を合い言葉に推進
- 【子育て応援センター】子ども広場の利用→目標の138%／一時預かり→目標の約半分。今後の利用拡大
- 【第2次元気はつらつ紫波計画】「米寿の88歳まで身の回りのことは自分でこなす人が増加すること」を目標に推進
- 【介護予防事業】介護予防教室の実施→介護認定への移行率10%以内の目標／包括的支援事業→各種相談、介護講演会の実施



4

将来を担う子どもの 育成に努めます

- 【**将来を担う人材育成**】複式学級指導講師の増員／支援の必要な子どものため町独自のスクールヘルパーを配置／英語学習教育の充実
- 【**学校給食センター**】長寿命化を図るため配管を含めたボイラーの改修を実施
- 【**岩手国体**】自転車競技開催のための競技場バンク改修／ロードレースの駐車場整備

3

生活基盤がつながり 快適で安全なまちをつくります

- 【**国道4号日詰駅入口交差点の右折レーン設置**】現在予備設計中／今後は紫波インター線入口交差点についても要望
- 【**北上川上流の無堤地区解消**】廿木地区築堤→用地交渉開始、工事着手予定／日詰地区築堤→平成24年度に堤防の位置が決定
- 【**公園の安全管理**】遊具が設置されている58カ所の安全を確保
- 【**都市計画マスタープラン**】100年の未来の社会情勢をイメージし、現在市民参加条例による意見集約→6月議会に提案
- 【**北日詰朝日田線街路事業**】紫波インター線までの区間を平成26年度完成目標
- 【**紫波中央駅前都市整備事業**】中央駅前二丁目7号線、仮称「紫波中央駅前大通公園」の整備を最後に終了
- 【**全国下水道推進大会**】平成25年7月に当町で開催
- 【**紫波浄化センター**】長寿命化計画により7カ年の期間で更新工事を実施
- 【**水道事業**】新たなビジョン追求のため、「岩手中部水道企業団（仮称）」として平成26年4月発足予定／古館水源系施設更新事業→平成27年度完成



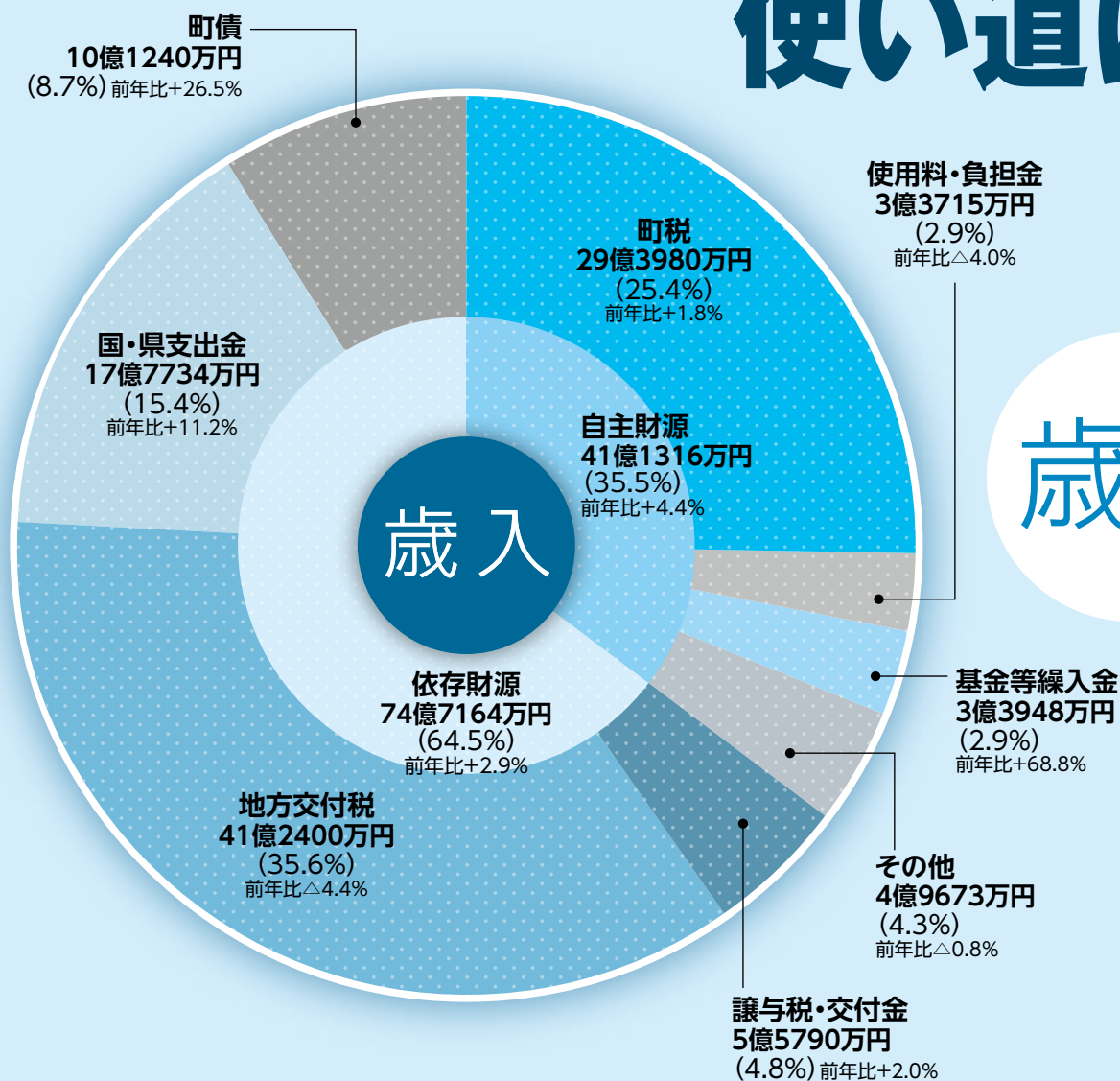
5

対話と協働で豊かな公を 実現し発展するまちをつくります

- 【**安全安心のまちづくり**】自主防災組織→現在、各自治公民館など、20地区で結成。佐比内地区は全域で結成。
- 【**紫波町水防計画**】水防団員の安全確保と水防訓練の義務化、県の水防計画との整合性を図る
- 【**紫波町国民保護計画**】安否情報システムの運用修正
- 【**持続的に自立できる紫波町行財政計画**】経常収支比率が84.9%と悪化→85%以下を目指した計画策定
- 【**コミュニティバス「すこやか号」**】現在の2台運行から3台運行として乗車時間の短縮を図るとともに、紫波中央駅を発着とし、温泉、医療機関、ショッピングへの利便性が向上
- 【**住民満足度調査**】「町の通信簿」として2年ごとに実施しており、平成25年度は実施年
- 【**地区創造会議**】地区コミュニティの支援として、地区ビジョンから地区計画の策定に向けたステージづくりを検討



115億8480万円の 使い道は？



歳入

平成25年度の一般会計予算は115億8480万円、町民一人当たりになると約34万円です。平成24年度に比べて、3億8131万円、3.4%の増額です。町にはどんなお金が入り、どんなことに使われるのでしょうか。

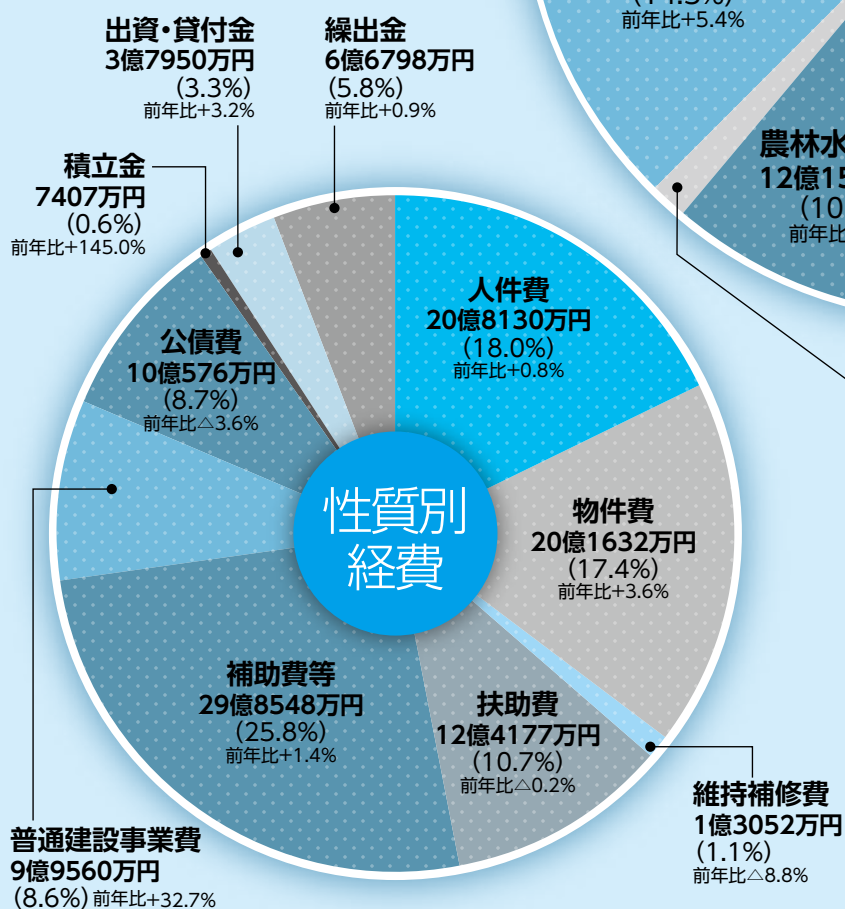
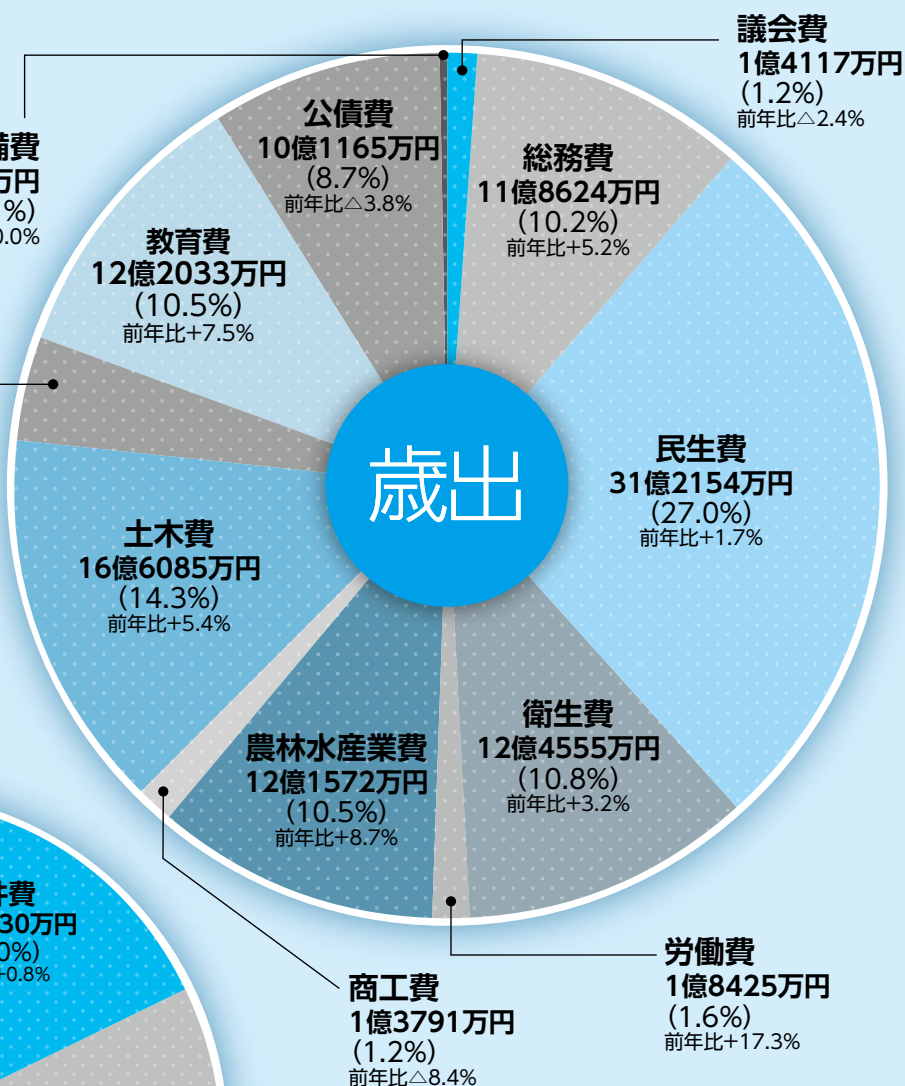
入ってくる
お金
歳入



- 町に入ってくるお金は、
- ・皆さんが町に納めた税金(町税)
 - ・国に納めた税金が国から町に交付されるお金(譲与税・交付金、地方交付税)
 - ・使用料や負担金
 - ・特定の事業をするために国や県からもらう補助金
 - ・貯金を崩したお金(基金繰入金)
 - ・政府や金融機関から借りたお金(町債)
- などです。

町税のように、入ってくるお金を

歳出



どんなことに使われるのか事業科目ごとと性質ごとの2種類の表で見えてみましょう。

事業科目は、障害者や老人、児童福祉に使われる「民生費」、道路や河川に使われる「土木費」が大きなウエートを占めています。

性質別に分けて金額の大きい方から見てみると、補助金や負担金などの「補助費等」、議員や委員、職員に係る「人件費」、各種事務事業の委託料や賃金、備品購入費などの「物件費」、障害者や乳児への給付費や、児童手当などの「扶助費」の順です。

どんなことに
使うのでしょうか
歳出

町が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や補助金、町債のように、ほかから収入する「依存財源」に分けると、自主財源は約35・5パーセント、依存財源は約64・5パーセントで、約3分の2の財源をほかに頼っています。

新規事業 主要事業

新規事業は、紫波自転車競技場改修事業費補助金（約7千万円）、農業体質強化基盤整備促進事業（約3千万円）、堆肥センター攪拌設備改修工事（約2千万円）、町道長岡徳田線改良舗装工事（約2千万円）などがあげられます。

継続している事業は、紫波中央駅前整備事業（約2億円）、緊急雇用創出事業（約1億7千万円）、街路事業北日詰朝日田線工事（約1億7千万円）、水道広域化促進事業出資金（約1億5千万円）などです。

主要な新規事業など（平成25年度一般会計）

【総務費】

■男女共同参画推進計画策定……………	102万円
■住民満足度調査……………	184万円
■参議院議員選挙……………	1366万円
■町長選挙……………	1172万円

【民生費】

■障害者自立支援給付費（+2107万円）……………	4億806万円
■障害児給付費（権限移譲 +1825万円）……………	4105万円
■家庭保育支援利用事業補助金（+112万円）……………	232万円

【衛生費】

■放射性物質汚染対策事業……………	661万円
■未熟児養育医療費給付（権限移譲）……………	150万円
■県央ブロックごみ処理広域化推進協議会負担金……………	117万円
■し尿処理施設PFI可能性調査……………	537万円
■広域化促進事業出資金（+3615万円）……………	1億5005万円

【労働費】

■緊急雇用創出事業（+3350万円）……………	1億6662万円
-------------------------	----------

【農林水産業費】

■農業経営体育成事業……………	997万円
■戸別所得補償農地集積協力金……………	250万円
■堆肥センター攪拌設備改修、畜糞回収用コンテナ購入……………	2332万円
■県営土地改良事業負担金……………	366万円
■農業体質強化基盤整備促進事業（水田暗渠排水）……………	2525万円
■紫野簡易給水施設揚水場配水流量計・記録計更新……………	600万円

■森林病虫害駆除事業業務委託……………	683万円
■森林整備間伐事業業務委託……………	396万円

【商工費】

■ラ・フランス温泉館設備改修、備品購入……………	588万円
--------------------------	-------

【土木費】

■町道舗装路面性状調査委託……………	210万円
■町道長岡徳田線測量設計……………	1870万円
■町道大志田線改良舗装工事……………	1550万円
■町道北七久保1号線改良（工事、補償）……………	900万円
■町道田中前大坊線改良（工事、登記）……………	400万円
■町道城内線右折レーン測量設計……………	300万円
■震災生活再建住宅支援事業（+1942万円）……………	3065万円

【消防費】

■小型動力ポンプ付積載車購入……………	990万円
■消防屯所改築（第4分団第2部）……………	1333万円

【教育費】

■小学校複式学級指導講師（+256万円）……………	957万円
■小・中学校保健室冷房機器設置……………	320万円
■あらえびす記念館図録出版業務委託（没後50周年）……………	250万円
■紫波自転車競技場改修事業費補助金……………	7236万円
■自転車ロードレースコース用地取得……………	1822万円
■陸上競技場トラック補修……………	630万円
■給食センター厨房内冷房機器設置……………	870万円

基金残高

Q貯金はあるの？

A 町には借金返済のためとか、記念館や温泉館の維持修繕のためなど、使い道が特定されている貯金があります。平成25年度はこの貯金から約3億円を引き出して使うことにしており、町の貯金の残高は年々少なくなっています。

基金名	H24年度末見込 A	H25年度中の増減見込額		H25年度末現在高 見込額（A-B+C）
		取り崩し B	積立 C	
財政調整基金	4億2551万円	1億7709万円	5000万円	2億9842万円
町債管理基金	3億1365万円	9084万円	589万円	2億2870万円
まちづくり基金	2億3997万円	6088万円	1610万円	1億9519万円
公共施設等整備基金	150万円	—	150万円	300万円
国際交流基金	8014万円	297万円	—	7717万円
社会福祉事業基金	2億1903万円	144万円	11万円	2億1770万円

町債残高

Q いったい借金っていくらあるの？

A 町の借金を「町債」と言います。今年は、水道広域化促進事業出資金の出資債、紫波中央駅前整備や町道改良工事などの建設事業債や地方交付税の不足を補う臨時財政対策債など約10億円の借金をする予定で、これまでの借金を約8億円返済する予定です。これにより平成25年度末の町債残高は、約108億円になります。町民一人当たりになると約32万円になります。町債のほかに、将来支払う約束をしている金額（債務負担行為による支出予定額）が約50億円あります。

前年度までの地方債現在高		H25年度中の増減見込額		H25年度末現在高
H23年度末	H24年度末見込 A	元金償還額 B	起債額 C	見込額 (A-B+C)
97億9965万円	105億9574万円	8億4730万円	10億1240万円	107億6084万円
うち臨時財政対策債※ 40億7438万円	44億5244万円	1億8885万円	5億4600万円	48億959万円

※臨時財政対策債とは、国の地方交付税特別会計の財源が不足し、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして、該当する地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置される。

特別会計・ 公営 企業会計

保健医療事業などは一般会計とは別に事業ごとに特別会計を起こして予算を管理しています。予算額を昨年と比較すると全ての会計で増額となりました。国民健康保険事業や介護保険事業へは、保険税軽減分や保険給付のための費用として、それぞれ約1億8千万円と約3億5千万円を一般会計から繰出しています。

下水道事業と水道事業は「公営企業会計」と言って独立採算で運営されています。予算も収益的収支と資本的収支に区別します。

平成25年度特別会計の状況

会 計 名	予算額 (対前年増減率)	一般会計からの繰入額
国民健康保険事業	36億6271万円 (+4.7%)	1億8152万円
後期高齢者医療	2億2621万円 (+4.6%)	6727万円
介護保険事業	25億5866万円 (+6.3%)	3億5446万円
介護予防サービス計画事業	800万円 (+2.7%)	—
特別会計合計	64億5558万円 (+5.3%)	6億325万円

平成25年度下水道事業会計の状況

予算額 (対前年増減率)	
収益的収入	12億9227万円 (+ 6.4%)
収益的支出	13億9335万円 (+ 0.3%)
資本的収入	4億1595万円 (△ 46.4%)
資本的支出	11億 872万円 (△ 21.2%)

平成25年度水道事業会計の状況

予算額 (対前年増減率)	
収益的収入	6億6045万円 (+ 1.8%)
収益的支出	7億2344万円 (+10.6%)
資本的収入	12億2958万円 (+119.2%)
資本的支出	15億4479万円 (+83.5%)

市民のちから～手を取り合ってつくる住みよい町～ みなさんのおかげでした大縁会



オープニングセレモニーの様子



ワークショップ

一畳分の人体博物館

参加者全員が、自分の

人型を思い思いに描き、まちづくりを行って良かったこと、大変だったこと、これからやりたいことなどを、関連部位に書き込む活動。



個性あふれる図が会場いっぱいに並びました

トリケ

「壁を越える人」 ～自治体職員の仕掛け人たち

こんな話題が
出ました



(写真左から) 高橋堅さん(紫波町企画課)、工藤巧さん(紫波町情報交流館館長)、佐々木仁さん(宮古市役所)、藤尾智子さん(紫波町町民課)、中村和也さん(岩手県NPO文化国際交流課)

まちづくりの活動に熱意を傾けるゲストの皆さんに、それぞれの経験談や、取り組みへの思い、これからの目標などを語っていただきました。

町内外でまちづくりに携わる活動をしている皆さんが一堂に会し、新しい公共について学び、新たな活動やつながりを生むきっかけとすることを目的に、「みなさんのおかげでした大縁会」が2月27日、情報交流館で行われました。これは、NPO法人「風波デザイン」が企画し、町と町内のNPO法人「ゆうもあねっと」、「あいぼら紫波」などが協力。約6時間の開催時間中、会場には常時50人ほどが入れ替わりながら訪れるほどの盛況で、紫波町観光案内人「しゃべーる」によるオガールガイドも、町外からの参加者に好評でした。

● 市民活動に参加することで、違う視点に気付かされたし、成長させてもらった。

● 自分ができることは何かを考え、今できることに全力を注ぐことが、活動につながった。

● 気持ちに寄り添うこと、向き合うことが大切。

「自ら動く人」

～福祉や環境などさまざまな
場で活躍中の人たち

こんな話題が
出ました



- さまざまな人とのつながりや仲間が増えて、楽しい。自分から話せるようになった。
- 活動が「楽しい」ということを伝えていきたい。いつも明るく元気にやっていたら、誰かがついてきてくれるものだと思う。
- 「何かやりたい」と考えている人と一緒に歩き、応援したい。いっぱい話し、聞き、動く機会をつくることで行動できるのではないかなと思う。
- 1つの得意があれば、参加できるシステムを作っている。そこでは、誰もが大事な1番の人。

(写真左から)武藤義治さん(NPO法人みどりと自然を育む会(盛岡市))、細川恵子さん(NPO法人紫波さぶり)、佐藤澄子さん(座・いどばた(滝沢村))、小田中次男さん(NPO法人めくもり)、高家草子さん(森のそば屋(葛巻町))

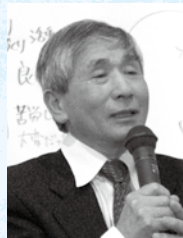
「つなぐ人」

～人と人、モノとモノ、
人とモノなどをつなぐ人たち

こんな話題が
出ました



森田麻里さん
(ならいまち・こまち)



藤倉恭一さん
(NPO法人馬と曲り家のおおさわ村(滝沢村))



川村晃寛さん
(紫波新聞編集長)



水本千恵子さん
(古館公民館指導員)

- 一緒に伴走しながら活動することで得る喜びが多い。楽しい人とつながれるし、活動も続いていく。
- 困っている人の力になれば良いと思う。
- 町内にあるあまり知られていない資源を、広め、つなげていきたい。
- 地域をよくするためには、住民である自分たちが行動しなければと思った。
- それぞれの活動には、「何のために活動するのか」という基本的な理念がある。時には、そこに戻って、軌道修正できるように支援したい。

特別 座談会



「協働とガバナンス・マネジメント」

明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科 北大路信郷先生

北大路先生が、公共経営における協働活動の考え方や、グッドガバナンス社会(民主的でありながら、市民たちが自助、共助、協働による社会的課題の解決を目指す社会)を実現するために必要なことなどをお話した後、参加者は、それぞれの活動の中で抱えている疑問などについて質問していました。

- 「NPOってかっこいいよね」という価値観を作っていきたい。
- 今のまちをベースにして、いかに住民力を高めていくか。ノウハウをまとめ、誰もがリーダーのなり手になれるような土壌づくりをしたい。
- 地域に入っていくほど、地域の良さにひかれていく。
- 「十人百舌」の時代。若い世代の失敗を許容してくれる、あそびのある社会になればと思う。
- 伝えていく中で、その人らしさが出てくればと思う。
- 先輩の皆さんからはもちろん、年下の人からも学んでいきたい。

「次を担う人」

～未来の担い手である若手ニューリーダーたち



葛巻徹さん
(NPO法人いわて連携復興センター(花巻市))



佐藤尚弘さん
(岩手県東北広域振興局(久慈市))



小野寺浩樹さん
(NPO法人レスパイトハウス・ハウズ(一関市))

こんな話題が
出ました



金野侑さん
(地域コーディネートセンターみやこ(宮古市))



大吹哲也さん
(NPO法人風・波デザイン)

環のくに W A N O K U N I S H I W A 紫波

町に提案！

「循環型まちづくり」

循環型まちづくり委員会は2月12日、14人の委員による2年間の調査研究から、町に対し循環型まちづくりに関する4つの提案をしました。出席した町幹部職員による見解とともに一部を紹介します。

提案1

「災害時の水の確保」「水資源を利用した伝統産業」「観光資源としての水」などを考え、井戸水や湧き水、雨水などの身近な水資源の積極的な利用を図っていく必要があると考えます。



水分神社の湧き水には毎日多くの人が訪れている

町のえ

観光資源としての水の利用については、日詰地区鍛冶町で地下水・井戸水などの調査も行われましたが、残念ながら、観光振興計画には盛り込まれていません。今後は、各関連団体と協議しながら取り組んでいきたいと思っています。伝統産業の掘り起こしとして、豆腐やそばなどが現在進行形で取り組まれており、6次産業化としても今後進めていく考えです。井戸水や雨水についても、技術面やコスト面を考慮しながら、農業分野や省エネルギー住宅の分野などで検討を進めていきます。

提案2

下水処理施設である紫波浄化センターでは、汚水を浄化・減菌して川へ放流しています。せっかくきれいにした水をそのまま放流する



親水公園として整備されている五郎沼沿いの河川

のではなく、有効利用する方策を考えてはどうでしょうか。例えば、ビオトープや親水公園といった、放流前の処理水を活用し環境学習のできる施設を整備してはいかがでしょうか。

町のえ

町の公園整備の計画については、現在、宅地開発に伴う児童公園の整備に限られています。自然公園や親水公園の整備は今後の検討課題ではありますが、障壁は多いと考えます。現時点では、放流前の処理水の利用は考えていません。ビオトープについては、農林水産省の「農地・水保全管理支払事業」により整備が可能であり、環境学習の場としても有効であるため、地域や集落の合意の上で、適地を考慮し検討していきます。

提案3

町では、森林資源の循環や林業再生に積極的に取り組んでいます。これらの推進していくために、町産木材や間伐材のさらなる利用増加に向けた具体的な方策が必要と考えます。平成28年に開催



委員会の様子



太陽光発電で 災害に強い 福祉施設に



特養老人ホームにいやま荘の屋根に設置された
太陽光発電システム

循環型まちづくりの理念のもと、再生可能エネルギーを推進する当町では、民間事業者による積極的な取り組みも進んでいます。

町内で介護事業所などを運営する社会福祉法人紫波会(福田要理事長)は、桜町地内にある特別養護老人ホームにいやま荘に再生可能エネルギー設備を導入しました。導入したのは、30キロワットの太陽光発電と太陽熱給湯の2つの再生可能エネルギー設備で、太陽光発電は施設の4.44%に相当する電力を削減し、太陽熱給湯では、灯油に換算して1万6383リットルを、それぞれ年間で削減できる見込みです。また、夜間の停電時でもナースコールや電話などの通信用電力を確保するために5.5キロワットの自家発電機の設置も併せて行い、再生可能エネルギー設備の設置と合わせ、災害に強い福祉施設を目指します。



紫波総合高校では毎年駅に
プランターを贈っている

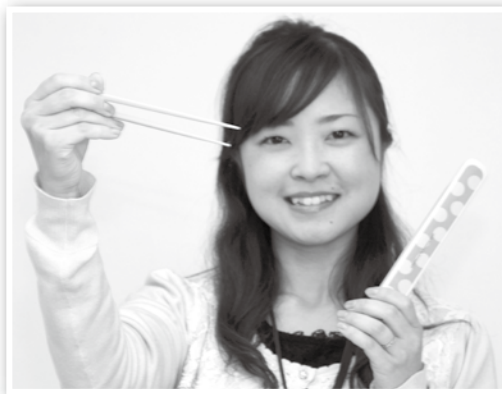
される「いわて国体自転車競技」では、競技会場や沿道に間伐材製のカープで覆った鉢花を配置し、来町者を歓迎することを提案します。循環型まちづくりを宣伝する有効な手段となるほか、カープの作成を各学校や公民館単位で行うことにより、環境学習の機会の提供につながると考えます。

町の 考え

希望郷いわて国体については、現在、町準備委員会が設置されており、「オール紫波でのおもてなし」をテーマに取り組んでいます。前回開催の岩手国体の際にも「花いっぱい運動」として取り組んだ経緯があることから、準備委員会で検討していきたい。木材の活用については、循環型まちづくりの大きな柱となる取り組みとして、これまでも行ってきた公共施設への町産木材の活用と木質バイオマスの利用を推進していきます。来年度以降は、紫波中央駅前に建設を計画している「エネルギーソリューション」と「省エネルギーサポートセンター」(仮称)が核となります。

提案 4

二酸化炭素の排出削減に取り
組む町事業「循環型エコプロ
ジェクト推進事業」(Eco Bee クー
ン券事業)は、現在10のメニューがあ



あなたも“マイ箸”を持ち歩いてみませんか

町の 考え

り、さまざまな団体や町民の方々が、身の周りの地球温暖化対策に取り組んでいます。その中でもより町民にとって取り組みやすい新たなメニューが必要と考えます。具体的には、飲食店などで食事をする際に、使い捨ての割り箸を利用せずに箸を持参する「マイ箸運動」を提案します。

飲食店では、使い捨ての箸を置かない店舗が増えてきています。環境に取り組む町として目に見える形の活動にいく必要があります。環境学習の一環として親子での箸づくりから始めるなど、より事業効果の高い方法での実施も含め検討していきます。実現すれば町のイメージづくりにもつながります。

豊かな公が 息づくまち

町内の「市民活動」「地域コミュニティ」「町の施策への市民参加」など、毎月々協働のまちづくりの情報をお伝えします。

皆さんの声が 生かされています 市民参加実施結果

◆市民参加条例って何のためにあるの？

市民参加条例は、町の計画や条例、公共施設をつくるなど、市民の意見を聞く機会を設けることを定めた市民の力を引き出すための条例です。

市民参加の手法は主に「市民会議」「意見公募」「意見交換会」「審議会」などですが、「フォーラム」や

「アンケート」といった形式でご意見を聞く機会を設けることもあります。

このような参加の機会の情報は、『紫波ネット』や『ポータル紫波』で随時お知らせしていきます。ごなくても意見を出すことができますので、あまり構えることなくまちづくりに参加してください。

◆平成24年度は、どんな計画と条例が対象になったの？ 平成24年度 市民参加実施結果

	対 象	市民参加の方法	実施日(参加者、意見数など)	担当部署
市民参加の対象となる事項	紫波町地域福祉計画	意見公募	1月7日～31日(3件)	福 祉 課
		意見交換会	1月18日(7人)、21日(3人)、22日(2人)	
		地域福祉計画策定委員会	11月29日、12月17日、2月14日	
	農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想	意見公募	1月25日～2月15日(7件)	農 林 課
		意見交換会	1月27日(0人)、28日(1人)	
		農政審議会	2月22日	
		農政関連計画検討委員会	6回(5月～2月)	
	紫波町都市計画マスタープラン	市民会議	6月21日(13人)、7月8日(11人)、7月19日(12人)、8月9日(8人)	都 市 課
	紫波町水防計画	意見公募	1月28日～2月16日(1件)	総 務 課
		意見交換会	2月5日(1人)、2月6日(1人)、2月12日(2人)	
		防災会議	2月22日	
	紫波町国民保護計画	意見公募	1月28日～2月16日(意見なし)	総 務 課
		意見交換会	2月5日(1人)、2月6日(1人)、2月12日(2人)	
		国民保護協議会	2月22日	
	紫波町暴力団排除条例	意見公募	11月1日～30日(意見なし)	総 務 課
		意見交換会	11月16日(25人)、11月27日(8人)	
	第9次紫波町交通安全計画	意見交換会	11月21日(0人)、12月4日(24人)	総 務 課
	男女共同参画推進計画	アンケート(意識調査)	12月実施 回収率33.9%	企 画 課
		男女共同参画推進委員会	11月21日	

◆具体的にどんな効果があったの？

市民の皆さんの意見から、実際に計画や条例に反映されたのは次のようなものがあります。

◆地域福祉計画

これまで地域独自で取り組んできた福祉の具体的な例を示してほしい。

↓資料編の中に具体的な例を何点か掲載することになりました。

◆農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想

目標を示した部分に現状や課題が混在している。

↓目標の中に小見出しをつけ、読みやすいよう改善しました。

◆暴力団排除条例

「町民」の定義が示されていない。

↓居住者のみならず、事業者や町へ通勤、通学している人まで想定しているので、町民の定義を明記しました。

町の人事

町は4月1日、職員の人事異動を発令しました。定期異動60人、新採用職員6人、3月31日付退職者5人をお知らせします。

【部長級】

生活部長 佐藤 美津彦 [経営支援部企画課長]
建設部長 佐藤 勇悦 [経営支援部長(会計管理者)]
経営支援部長(会計管理者) 藤原 博視 [生活部長]

【課長級】

建設部 土木課長 柳澤 徹 [建設部土木課施設管理室長]
経営支援部 企画課長
高橋 堅 [経営支援部企画課公民連携室長(情報交流館事務局副主幹)]
学校給食センター 所長(教育部学務課主幹)
新井田 友子 [農業委員会事務局次長]
農業委員会 事務局長
羽生 広則 [生活部長寿健康課介護保険室長]

【室長級】

生活部 町民課 町民窓口室長
谷地 恵美子 [経営支援部企画課主査]
生活部 福祉課 こども室長(子育て応援センター副所長)
須川 範一 [教育部学務課学務室長]
生活部 長寿健康課 介護保険室長
内城 拓 [生活部福祉課こども室長]
産業部 商工観光課 観光交流室長
古内 広貴 [経営支援部税務課納税室長]
建設部 土木課 施設管理室長 石川 敬造 [建設部土木課技査]
経営支援部 総務課 総務文書室長
熊谷 浩次 [監査委員事務局次長(議会事務局次長)]
経営支援部 企画課 公民連携室長
鎌田 千市 [経営支援部企画課公民連携主査(情報交流館事務局主査)]
経営支援部 税務課 納税室長
工藤 大輔 [産業部商工観光課観光交流室長]
教育部 学務課 学務室長
中田 秀男 [経営支援部総務課総務文書室長]
農業委員会 事務局次長
阿部 真弓 [生活部町民課町民窓口室長]
監査委員 事務局次長(議会事務局次長)
熊谷 欣弥 [経営支援部企画課情報政策主査]

【主査級】

生活部 町民課 国保年金主査 千葉 広幸 [生活部町民課主査]
生活部 福祉課 福祉推進主査 沼田 信一 [生活部町民課主査]
生活部 福祉課 こども主査
工藤 美和子 [生活部町民課国保年金主査]
中央保育所 主査 中島 みさお [長岡児童館主査]
建設部 下水道課 主査 吉田 裕之 [建設部下水道課主査]
水道事業所 給水サービス主査 佐藤 輝 [水道事業所主査]
水道事業所付(技査)(岩手中部広域水道企業団派遣)
齊藤 克夫 [水道事業所給水サービス技査]
経営支援部 総務課 総務文書主査
細川 修一 [経営支援部総務課付(主任)(大槌町派遣)]

経営支援部 総務課 主査 倉成 絵理 [経営支援部総務課主任]
経営支援部 総務課付(主査)(大槌町派遣)

高橋 寿 [生活部長寿健康課主任]

経営支援部 税務課 課税主査 照井 崇 [経営支援部税務課主任]
野村胡堂・あらえびす記念館 主査

高田 美保 [野村胡堂・あらえびす記念館主任]

【主任級】

生活部 町民課 主任 横沢 三重子 [生活部福祉課主任]
長岡児童館 主任児童厚生員
佐々木 美紀子 [古館保育所主任保育士]
生活部 長寿健康課 主任 高橋 佳治 [建設部下水道課主任]
産業部 環境課 主任 千葉 基 [産業部商工観光課主任]
産業部 商工観光課 主任 工藤 倍也 [産業部環境課主任]
水道事業所 主任技師 高橋 真二 [建設部下水道課主任技師]
経営支援部 総務課 主任 森川 高博 [生活部長寿健康課主任]
経営支援部 企画課 主任 佐々木 浩道 [経営支援部総務課主任]
経営支援部 企画課 主任 工藤 智之 [経営支援部税務課主任]
経営支援部 税務課 主任 清水 さおり [経営支援部総務課主任]

【一般職員】

生活部 町民課 主事 阿部 祥大 [教育部学務課主事]
生活部 町民課 主事 桐田 優郁香 [経営支援部税務課主事]
古館保育所 保育士 中田 千尋 [中央保育所保育士]
産業部 農林課 主事
阿部 伸史 [水道事業所付(主事)(岩手中部広域水道企業団派遣)]
産業部 農林課 主事 島山 まゆみ [子育て応援センター主事]
建設部 土木課 主事 藤澤 祥 [水道事業所主事]
建設部 下水道課 主事 川村 将郎 [産業部農林課主事]
経営支援部 総務課 主事 中里 志織 [経営支援部税務課主事]
経営支援部 総務課 主事 志賀 将大 [生活部町民課主事]
経営支援部 企画課 主事 熊谷 拓也 [経営支援部総務課主事]
経営支援部 企画課 技師 佐々木 琢磨 [建設部土木課技師]
経営支援部 税務課 主事 古澤 啓介 [生活部福祉課主事]
教育部 学務課 主事 菅原 雅輝 [経営支援部税務課主事]
中央保育所 調理師 大崎 美登里 [学校給食センター調理師]
古館保育所 調理師 高橋 恵美 [中央保育所調理師]
学校給食センター 調理師 多田 さつき [古館保育所調理師]
日詰小学校 用務員 柳澤 優 [古館小学校用務員]
古館小学校 用務員 熊谷 広一 [紫波第三中学校用務員]
紫波第一中学校 用務員 阿部 正彦 [日詰小学校用務員]
紫波第三中学校 用務員 村上 祐功 [紫波第一中学校用務員]

【退職者】(3月31日付)

中村 重雄 [建設部長]
多田 薫 [建設部土木課長]
阿部 栄一 [学校給食センター所長]
牧野 良山 [農業委員会事務局次長]
米田 芳枝 [経営支援部企画課主任]

新採用職員(4月1日付)



生活部長寿健康課社会福祉士
佐々木 結夏



建設部土木課技師
高橋 司



建設部下水道課技師
照井 公春



経営支援部企画課主事
上方 雄理



経営支援部税務課主事
藤沼 幸歩



経営支援部税務課主事
藤沼 絢香

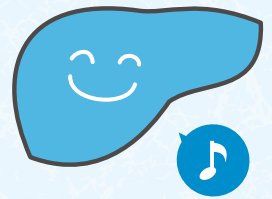


健やかランド紫波

健康
HEALTH

あなたの肝臓は大丈夫？

～肝炎ウイルス検査 一生に一度は受けましょう！～



○肝臓ってどこにあるの？

肝臓は体の中で一番大きな臓器です。横隔膜のすぐ下の胃の隣にあって、重さは約1kgもあります。たくさんの血管と胆管があり、体内の血液の1/4が集まっています。ニックネームは“沈黙の臓器”。たとえ肝炎になったとしても、なかなかSOSを出さないため「体がだるい」と気付くころには、すでに重症になっています。

○肝臓の働き

大きく分けて3つの働きがあります。化学反応によって原料を加工する工場のような臓器です。

- ①合 成 → 胃や腸で消化・吸収され、門脈（血管）を通して運ばれた栄養素を、体に必要なものにつくり変えます。
- ②解毒・分解 → 体内の老廃物や、摂取したアルコールや薬を害のないものにします。
- ③貯 蔵 → 合成した栄養を蓄え、必要なときにエネルギーの基として供給します。
(食事がとれない夜間などに、蓄えた栄養が使われています)

○肝機能障害の原因は？

肝機能障害の主な原因は、「ウイルス」「アルコール」「過食」です。中でも多いのはウイルス感染ですが、近年は、生活習慣病との関わりが強い、お酒の飲みすぎによる「アルコール性肝障害」や、食べ過ぎによる「過栄養性脂肪肝」が増加しています。

○肝機能検査の仕組み

肝機能検査で一般に知られる肝細胞内にある酵素「AST(GOT)」「ALT(GPT)」「 γ -GTP」。なんらかの原因で肝細胞が破壊されると、これらの酵素が血液に漏れ出し、血中濃度が上昇します。

AST(GOT)

細胞内で作られる酵素。体内でのアミノ酸代謝やエネルギー代謝の過程で活躍します。ほとんどの臓器に存在するため、肝機能障害のほか心筋梗塞、骨格筋障害でも値が高くなります。

ALT(GPT)

細胞内で作られる酵素。主に肝細胞に存在し、体内でのアミノ酸代謝やエネルギー代謝の過程で活躍します。値が高いときは、それだけ肝臓が障害を受けていることを表しています。

γ -GTP

肝臓や腎臓などで作られる酵素。肝細胞や胆管細胞、胆汁に存在し、たんぱく質を分解・合成します。お酒の飲み過ぎ・肥満や薬のほか、胆汁うっ滞や胆管細胞が破壊されても高くなります。

○ウイルス性肝炎とは？

肝炎ウイルスに感染し、肝臓の細胞が壊れていく病気です。「沈黙の臓器」と呼ばれる肝臓は、予備能力が高く、自覚症状がないまま病気が進むことがあり、肝硬変や肝がんになることもあります。

また、肝炎は、肝臓の線維化(肝細胞が硬くなる)が進むほど肝がんを発症しやすいことが知られています。肝機能検査でAST(GOT)値やALT(GPT)値の高値が持続すると肝臓の炎症が強く、肝炎が進行しやすいと言えますが、低くても進行していないとは言えません。肝炎から肝硬変への進行を予測することが非常に重要で、AST(GOT)値やALT(GPT)値だけでなく、血小板数にも注意が必要です。

肝臓は血小板の産生に関わっており、線維化が進むと血小板の産生量が減ったり、肝臓の血流が悪くなって壊される血小板の量が増えたりするので、血小板の低下は肝臓の線維化の程度を表します。

○肝炎ウイルスの検査はお早めに

肝炎ウイルスの感染は、血液検査で分かります。5月から始まる総合検診で肝炎ウイルス検査を無料で実施します。40歳以上で、まだウイルス検査を受けていない人は、早く受けましょう。



○もし感染していたら・・・

肝炎ウイルスに感染していることが分かったら、必ず医療機関を受診しましょう。自覚症状がなくても、定期的に医療機関を受診し、常に肝臓の状態をチェックしておくことが大切です。

心のほっと相談室

その症状、PTSD かもしれません!!



PTSD(心的外傷後ストレス障害)は、命の危険を感じた人や、強い恐怖感を伴う経験をした人に起きやすい症状です。その怖かった経験の記憶が心の傷(トラウマ)として残り、さまざまな症状を引き起こします。どんな経験がPTSDの原因になるのか、どんな人がPTSDになりやすいのかは、人によって異なるために分かっています。誰にでもその可能性はあります。

PTSDの治療は、心の傷の回復と、つらい症状を軽減することが基本です。

PTSDでよく見られる症状

1. 忘れたつもりでも、ふとした時につらい体験の時に味わった感情(恐怖・気痛・怒り・哀しみ・無力感など)がよみがえる。
2. 緊張が続ぎ、常にイライラし

ている。警戒心が行きすぎなほど強くなり、ぐっすり眠れないなどの過敏な状態が続くようになる。

3. 自分で気付かないうちに状況を避けるようになる。その結果、行動が制限され、日常生活・社会生活が送れなくなることもある。

4. つらい記憶に苦しむことを避けるために、感情や感覚が麻痺することもある。家族や友人に対し愛情や優しさを感じられなくなることや、人に心を許せなくなることもある。

このような症状が長期間続くような場合は、早めに相談や受診をしてください。

問合せ

福祉課 福祉推進室
☎6722111 内線1523

こんにゃくを豆腐に代えたり、野菜を季節ごとにアレンジしたりできます。



からだよろこぶヘルシーレシピ

こんにゃくステーキ ～春野菜添え～

近年、家庭での食料備蓄が見直されています。災害時にはたんぱく質の食材が不足しやすくなるため、缶詰や乾物などの利用も検討してみましょう。

材料(4人分)

板こんにゃく……………2丁
ニンジン……………50g
菜の花……………1束

新玉ネギ……………1個
ツナ缶……………1個(80g)
白だし……………50cc

水……………200cc
砂糖……………小さじ1

【紫波町食生活改善推進員協議会 志和地区会員 吉田百子さんのレシピです】



注:写真は2人分です

つくりかた

- 1 こんにゃくを縦半分、横半分に切って4等分にする。表面に格子状の切れ目を入れて下ゆでする。
- 2 ニンじんはせん切り、玉ネギはくし型に切る。菜の花はさつとゆでて1cmくらいに切っておく。
- 3 鍋に白だし、水、砂糖を入れ、下ゆでしたこんにゃくを煮る。味がしみたら、こんにゃくを取り出し、残った煮汁でニンジンを煮る。
- 4 フライパンにツナ缶の油をしいて、こんにゃくの両面を焼く。
- 5 両面焼けたら、こんにゃくを取り出し、玉ネギを炒める。
- 6 ニンじん、菜の花、ツナ缶、玉ネギを和えて皿に盛る。
- 7 6の上に5のこんにゃくステーキをのせて、出来上がり。

鮭と一緒に大きくなあれ 稚魚放流



そろりそろりと優しく稚魚をお見送り

春の陽気に恵まれた3月15日、滝名川漁業組合（佐々木嘉一郎会長）は、彦部児童館の児童21人を招き、彦部橋のたもとで鮭の稚魚3万匹を放流しました。子どもたちは「元気に帰ってきてね」と声をかけながら稚魚を川に放ち、佐々木会長は「子どもたちも、鮭のように故郷を思いながら、元気に優しく育ってくれば」と目を細めていました。

100歳の お祝い 高橋ウメノさん 初投稿で俳句入選 99歳 坂本サダさん

古館地区の居宅介護施設「えんどり」で暮らす99歳の坂本サダさんは、『紫波ネット』4月お知らせ版『文芸コーナー』に初めて投稿し、見事佳作入選を果たしました。入選した俳句は「淡雪とともに迎える白寿才」、俳句を詠むのは小学校以来という坂本さん。「窓の外で雪が降っていて、思いついたように詠みました。暖かくなったら外でも詠みたいです」と、創作意欲を高めていました。



投稿したはがきを持ち、うれしそうな坂本さん（中央）と職員の方（左）と職員の方（右）



お祝いの衣装に身を包み、ご家族と施設の皆さんに祝福を受ける高橋さん（前列中央）

春風吹く3月28日、南日詰の高橋ウメノさんが100歳のお誕生日を迎えられ、藤原町長が、入所先の介護老人保健施設敬愛荘（矢巾町）を訪問しお祝いの記念品を手渡ししました。高橋さんは若いころから農業に従事し、子ども6人、孫11人、ひ孫15人、やしゃご1人に恵まれ、ご兄弟も5人のうち4人が健在。長生きの秘訣は「よく働くことと何でも食べる」と話していました。

観光案内人 しゃべーるが オガール研修

紫波町観光案内人しゃべーる（久慈和子代表）の7人は3月26日、案内する機会が増えたオガールプロジェクトについて詳しく知るため、研修会を実施しました。オガールプラザ（株）代表取締役の岡崎正信さんから、公民連携の手法や施設の特徴などの説明を受け、久慈代表は「学んだことを踏まえ『また紫波町に来よう』と思ってもらえるように案内したいです」と意気込みを語っていました。



施設内を歩きながら、建物の特徴についても学んでいました



紫波一中で作業する組合員

無償で黒板塗り替え 紫波塗装工業組合

紫波塗装工業組合(鷹嘴匡宣代表)は3月28日、小中学校の黒板の塗り替え作業を無償で行いました。この奉仕活動は、子どもたちが気持ちよく授業を受けられるようにと、40年以上も続けられています。今年も、サンリード東北株式会社(矢巾町)から塗料の無償提供を受け、組合員12人が、希望のあった古館、水分、片寄の各小中学校と紫波第一中学校の黒板50枚を塗り替えました。



参加した約30人からは、活発に質問などが出されていました

商品PR技術を向上しよう！ 農林公社がセミナーを開催

農林公社は3月21日、町内農業者を対象に、農産物・加工品PRスキルアップセミナーを開催しました。講師の株式会社ぐるなびの鈴木雅弘氏が、商品PRに効果的な文章の作り方、写真撮影のコツなどを説明。参加した大巻の橋本正光さんは「写真の撮り方など、参考になった。これから、文章の表現の仕方なども勉強していきたいです」と意欲を高めた様子でした。

紫波町農村青年クラブ(富山知倫会長)は、3月1日に開かれた第52回全国青年農業者会議で、農林水産大臣賞に次ぐ、農林水産省経営局長賞を受賞しました。この表彰は、設立後5年以上で構成員が39歳以下などの条件の下、農業に関する研究活動や地域貢献などが審査されるもので、同クラブは、親子農業体験教室の開催や大学生との交流、食育活動など多岐にわたる活動実績が評価されました。

農村青年クラブが 全国表彰



報告のため町長室を訪れた高橋哲也事務局長(中央)と高橋徹副会長(右)



慣れた手つきで町産のソバ粉を用い、30分間で見事にそばを打ちました

町産ソバ粉で そば打ちの腕試し

第五回紫波町素人そば打ち大会は3月10日、ラ・フランス温泉館で開かれ、町内外から12人が出場しました。実行委員長の照井利継さんは「年々レベルが上がっています。町内の方々にもっと参加してもらい、そばの文化を地域に浸透させたいです」と話していました。最優秀賞は、十割そばの部・三浦敏彦さん(宮古市)、二八そばの部・柳谷幸栄さん(盛岡市)でした。

あの日を忘れない キャンドルナイト



キャンドルの優しいあかりが、くっきりと「絆」の文字を浮かび上がらせました

東日本大震災から2年がたった3月11日、ラ・フランス温泉館で震災や復興への思いを風化させないようにとの思いが込められたキャンドルナイトが行われました。温泉客からは「縁を深めることで絆になると思う。これからも沿岸の方々としっかりとつながり、支援していきたいです」との声が聞かれました。

日本脳炎ワクチンの積極的勧奨対象者

- 第1期予防接種 初回接種は3歳と7～8歳(小学1～2年生)、追加接種は4歳と9～10歳(小学3～4年生)が対象
 - 第2期予防接種 平成7年4月2日～平成8年4月1日生(高校3年生相当)
- ※対象の人には個人通知します

3つのワクチンが「任意接種」から「定期接種」に変わります

子宮頸がんワクチン

対象:小学6年生～高校1年生相当年齢の女子(標準的な開始時期の中学1年生女子には個人通知します)

ヒブワクチン

対象:生後2カ月～5歳未満

小児用肺炎球菌ワクチン

対象:生後2カ月～5歳未満

■問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522

募集

元気はつらつ委員を募集

町は、元気はつらつ紫波計画の推進に提言をいただく「元気はつらつ委員」を募集します。町民の健康づくりについて一緒に考えてみませんか。

- 募集人数 若干名
- 任期 平成25年6月1日～平成27年5月31日
- 応募資格 健康づくりに関心のある、町内に住所を有する20歳以上の人
- 応募方法 応募申込書の提出 詳しくはお問い合わせください。
- 募集期間 5月2日(木)まで
- 申込・問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522 FAX672-4349
✉chojyu@town.shiwa.iwate.jp

県民長寿文化祭

作品募集

6月7日から3日間、盛岡市民文化ホールマリオスで開催される「県民長寿文化祭第25回作品展(旧シルバー作品展)」の出展作品を募集しています。

■部門

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

■資格

60歳以上の県内在住者(アマチュアに限る)

■条件

未発表作品、1人各部門1点まで

■申込・問合せ

5月10日(金)までに出品申込書を送付。作品は6月6日(木)までに搬入。
(公財)いきいき岩手支援財団
☎626-0196

相談

くらしとお金のセミナー&相談会

保険やローン、資産運用などくらしにまつわるお金の問題を一緒に考えましょう。4～9月の毎月第4日曜日に開催予定で、参加は無料です。

■開催日 (初回)4月28日(日)

■内容

【セミナー】午後1時～2時

インフレに備える資産運用

【相談会】午後2時～

くらしとお金に関することであれば何でも結構です。※各回限定6組、1組50分(要予約)

■会場 岩手県立県民生活センター(盛岡市中央通3-10-2)

■申込

☎624-2586 FAX624-2790

■問合せ 商工観光課

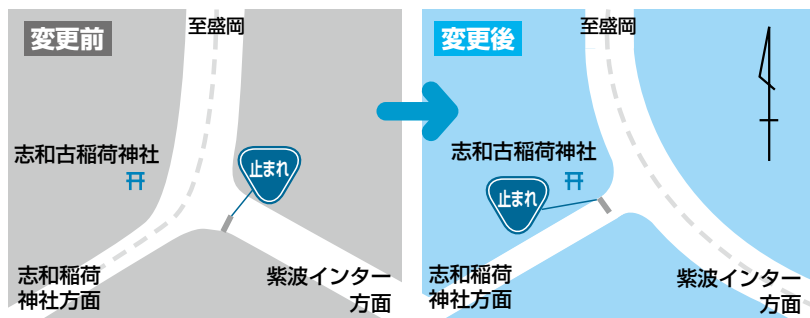
☎672-2111 内線3622

優先道路変更のお知らせ

志和古稲荷神社前交差点の道路整備が終わり、優先道路が変更になりましたのでご注意ください。

一般県道紫波雫石線(紫波インター方面からラ・フランス温泉館方面に向かう路線)の通行が優先となり、これまで優先だった志和稲荷神社方面からラ・フランス温泉館方面へ向かう路線は一時停止となります。信号は設置されていませんので、道路標識に従って通行するようにお願いします。

■問合せ 盛岡広域振興局 土木部道路環境課 ☎629-6645



中古住宅

中島字前郷

690万円

【物件概要】●交通:JR東北本線古館駅徒歩7分●地目:宅地●都市計画:非線引き区域●面積:土地188.37㎡(56.98坪)建物83.63㎡(25.29坪)●用途:第一種低層住居専用地域●建ぺい率:40%●容積率:80%●構造:木造並鉛メッキ鋼板ぶき2階建●建築年:昭和54年12月●設備:上下水道、集中ブローパン●引渡:相談●取引態様:媒介



広告有効期限:平成25年5月31日

(株)紫波中央不動産 〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ユニバースそば) ☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

医療保険適用 在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!

・歩行が困難な方
・身体にマヒがある方。不自由がある方
・車椅子使用の方など...
お気軽にお電話ください。
090-3753-0594

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。

あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53

TEL.019-656-6776



地元地域で活躍していただけるマッサージ師さん募集!!



➤ 催し

城山公園桜まつり 4月20日～5月6日

期間中は、たくさんの出店が並び、イベントも開催されます。

「東北夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り～」 城山公園は第58番目。4月1日から5月31日まで『桜で福幸スタンプラリー』を開催しています。

■イベント開催日 4月27日(土)

■会場 城山公園

■問合せ 商工観光課

☎672-2111 内線3632

元気はつらつ 水中運動教室(前期)

水中運動は、健康増進、身体機能回復、ストレス解消など、さまざまな効果が期待できます。初心者も気軽にお申し込みください。詳しい日時はお問い合わせください。

■日時 5月～9月(月曜日、夏休み期間・祝日を除く) 午後1時30分～3時

■会場 ラ・フランス温泉館プール

■参加費 1回100円、別途プール利用料をお支払いいただきます(回数券あり)

■定員 30人

■申込 長寿健康課 健康推進室

☎672-4522 有線01-8991

平成25年度消費者力 検定チャレンジ講習会

■日時・内容

4月～10月の毎月第3日曜日

①午後1時～2時30分

消費者力検定チャレンジ講習会

②午後2時30分～3時30分

衣食住・流通提案講習会

③午後3時30分～3時40分

参加者との情報交流会

★第1回目の4月21日(日)の内容は、

①契約・クーリングオフ②悪質商法事例

★①は各回テキストを利用し、11月10日(日)の検定試験を目指します。※使用テキスト＝「消費者力検定受検対策テキスト2012改定新版」1890円(発売元:財団法人日本消費者協会)

■会場 岩手県立県民生活センター2階研修室(盛岡市中央通三丁目10-2)

■参加費

無料(テキストを各自用意のこと)

■申込・問合せ

いわて消費生活アドバイザーの会

☎090-6456-9559(土日を除く午後4時～6時) [FAX]625-5375(役場庁舎案内・商工観光課にチラシがあります)

AED応急手当講習会

紫波消防署は、AEDを用いた心肺蘇生法について学ぶ講習会を毎月開催しています。受講料は無料です。で、お気軽に受講ください。

5月以降の開催日は、随時『紫波ネットおしらせ版』に掲載します。

■日時 4月21日(日)午前9時～正午

■場所 紫波消防署

■申込・問合せ

紫波消防署 ☎676-7119

➤ お知らせ

民生児童委員の ご紹介

赤石第5民生区(担当行政区5区、6区)の民生児童委員が変わりました。

新しく委嘱された民生児童委員

赤石第5民生区 柴田 静さん

☎672-4335

シルバー人材センター 入会希望者説明会

■対象

町内に居住する60歳以上の健康で働く意欲を持ち、社会参加を希望する人

■日時 5月9日(木)午前9時30分から

■会場 銭形平次会館2階会議室

■申込・問合せ 5月2日(木)まで

(公社)紫波町シルバー人材センター

☎672-1274

旧図書室にあなたの 作品を飾ってみませんか

6月1日から、中央公民館の会議室(旧図書室)の利用が可能となります。従来の会議や講座、サークルなどの学習活動のほか、新たに学習・活動成果を展示発表する場としてご利用できます。

■使用料

〈会議室としての利用〉

210円(1時間当たり)

〈展示会などでの利用〉

630円(1日当たり) 展示期間は、準備、撤収を含めて1週間以内

■申込・問合せ 2カ月前から受付(冬期間は暖房費別途)、中央公民館

☎672-3372

予防接種が変わります!

日本脳炎予防接種

平成17年5月30日から平成22年3月31日にかけての積極的勧奨の差し控えにより、日本脳炎の定期予防接種を受ける機会を逸した人(特例対象者)が変更になります。

平成24年度まで

平成7年6月1日～平成19年4月1日生

平成25年度から

平成7年4月2日～平成19年4月1日生

ラ・フランス温泉館

月一感謝デー

第4木曜日 4/25(木)

営業時間 午前10時～午後9時まで

入浴料 大人700円→500円 小人350円→無料!

友の会カードポイント5倍

恒例のイベント風呂

ハダカのおつきあいで一家だんらん。

La France

ラ・フランス温泉館

紫波町小屋敷字新在家90番地

☎019-673-8555

FAX 019-673-8556

ラ・フランス温泉館 検索

URL <http://www.lafrance.co.jp/>

紫波の風土がみえるワイン

ぶどう栽培農家の思いから生まれた100%地元産です

お土産に紫波のワインを

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン

お問い合わせは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

(株)紫波フルーツパーク 紫波町連山字松原1-11(道の駅紫波の裏手)

☎019-676-5301 URL <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>



提案のあった「オガールベース」イメージ図

ホテル、飲食店、コンビニエンスストアなどが入る計画です。ホテルやテナントが同居する複合型施設とすることで、その収益を公益性の高いスポーツアカデミー事業に充てて採算性を確保し、経済的自立を目指す計画です。

同施設は、町との借地契約を交わした後、平成25年9月着工、26年7月にオープンの予定です。

民間活力による 価値創造

オガールベースは来年7月

町は3月25日、提案募集していた紫波中央駅前町有地（オガールプラザ北側、A街区）活用事業の事業予定者として「オガールベース企画委員会」を選定し、審査結果と併せて公表しました。

オガールベース企画委員会が提案した内容は、民間施設の建築と小中学生の人材育成に主眼を置いたスポーツアカデミー事業などを含むオガールベースプロジェクトです。民間施設である「オガールベース」には、バレーボール専用体育館やビジネス

誠実な業務を約束 コンプライアンス宣言

紫波町建設産業連絡協議会は3月26日、役員が町長室を訪れ、社会の信頼に応えるためのコンプライアンス（法令順守）宣言をしました。建設業者では県内初となるこの宣言は、さまざまな不祥事による建設業界への不信感を払しょくしたいとの強い思いから、同協議会に加盟する町内31社が、倫理観と誠実さに基づいて、コンプライアンス強化を確立するために行われました。橘富雄会長は「町民の期待を損なわないように宣言させていただきました」と説明。宣言内容は次のとおりです。

業務に対する姿勢／説明責任／町民への対応／人権の尊重／個人情報の保護／町民の疑惑を招く行為の禁止／交通法規の順守／情報セキュリティ対策／環境意識の徹底
(詳細省略)



町長に宣言書を手渡す同協議会会長の橘建設(株)橘富雄代表取締役と、後列右から、佐々木建設(株)佐々木盛雄代表取締役、(有)小田島鉄工所小田島護代表取締役、(株)大同電気佐藤大実代表取締役

海外での経験を糧にして 派遣団報告会

国際交流派遣団(藤原美智雄団長)の報告会は3月26日、中央公民館で行われました。一行は2月下旬から10日間オーストラリアに滞在。生徒たちは一人一人、「英語力の足りなさを痛感した」「もっと外国のことを知りたいと思った」「将来は英語に携わる仕事に就きたい」などと感想を話した後、現地でも行った日本文化を紹介するプレゼンテーションを披露。藤原町長は「今回の派遣をひとつの経験とし、一步一步前に進んでほしい」と生徒たちをねぎらいました。



現地で4回行ったというプレゼンテーション。英語の発音も流ちょうでした

体験学習(無料)受付中

そろばん・あんざんで計算力アップ！
学習や日常生活に活かされます。

紫波町日詰字郡山駅

石川珠算教室

☎672-2621

岩手県知事認可 紫波町稲藤字升形

関谷珠算学校上平沢教場

☎673-6965



中央葬祭センター シンセラホール紫波

4月13日～4月29日まで
午前8時～午後5時

**数珠を 全商品3割引
特別価格で販売**

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278

☎676-7676 FAX676-4404



**紫波町に定住・住替を
お考えの皆さんへ
理想の住まい探しを
サポートします。**

(社)全日本不動産協会会員 東北地区不動産公正取引協議会会員
岩手県知事免許(2)2255号

ウエノ不動産管理(有)

☎671-2072 FAX)671-2073

日詰字下丸森9-4 (養老乃瀧 紫波町店となり)

最新情報はホームページへ「ウエノ不動産管理」検索

この街で宅地・建物の売買、仲介、
自社開発分譲を手がけています。
ご成約された被災者の方には
特典をご用意しています。
※詳しくはお問合せください。

野生動物による被害が深刻です

町内でハクビシンやニホンジカによる被害が増加しています。野生動物が増加する要因の一つとして、生ごみや農作物などを放置していることが挙げられます。野生動物と人間が、うまくすみ分け、共存していくためには、野生動物を人里におびき寄せない対策が必要です。

町内で目撃される野生動物の生態

《ツキノワグマ》

生態 雑食性で、体長110～130cm、体重50～100kg、通常12月～3月ごろは冬眠します。臆病な性格のため、普段は人に遭遇しないように行動しますが、突然出合ふと防御のために人を襲うことがあります。

《クマに合わないために》

山菜採りや登山の際には、1人で行動せず、鈴やラジオなどで人の存在を知らせましょう。万一遭遇したときは、興奮させないようにクマから目を離さず、後ずさりして距離を取るようにしましょう。



《ハクビシン》

生態 体長90～110cm、体重3～4kg、猫やタヌキに似ており、鼻筋の白い帯が特徴。雑食性で果実などの甘いものが大好物。夜行性で、運動能力は高く、ブドウ棚のワイヤーや電線を登り移動します。狭

い隙間も自由に行動します。

《対策》

畑や自宅の周りに果物などを放置しないようにしましょう。作業小屋や民家をめぐらするの、出入りできる穴はふさぎましょう。



《ニホンジカ》

生態 雑草、牧草、野菜、果実などを食べる草食動物。体毛は、夏は明るい茶色に斑点模様、冬にメスは灰色、オスは黒っぽい茶色に変わります。体長90～150cm。オスはメスより体が一回り大きく、角があり、毎年生え変わります。

《対策》

農作物の被害防止には、高さ2m以上のネット柵や電気柵が有効です。また交通事故防止のため、シカを見つけたら減速しましょう。



野生動物にとってすみにくい環境づくりが大切です

○野生動物に餌を与えない。餌を置かない家周辺や農地に生ごみや農作物を放置せず、廃棄農作物などを山に捨てないようにしましょう。田畑の雑草や藪を刈り取り、見通しをよくしましょう。

○電気柵を設置する

農作物の被害を防ぐためには電気柵の設置が有効です。電気柵の購入補助制度がありますので、農林課農業振興室(672)2111にご相談ください。

○野生動物を見過さない

農作物を食べていたらすぐに追い払い対策を実施しましょう。

■問合せ

環境課 生活環境室
(672)2111
内線3521、3522

《岩手県からのお知らせ》

県は、イノシシの生息動向を把握するために目撃情報を収集しています。

■報告先

岩手県自然保護課 (629)5371
盛岡広域振興局保健福祉環境部
(629)6563

HOYA ORIGINAL APP STATION
HOYA オリジナルアプリ導入店

※メガネのレンズに関するご質問についてiPadでわかりやすくご説明いたします。お気軽にご来店ください。

スタッフに
気軽にお尋ね
ください

無料相談の
あると便利なメガネ店

眼鏡屋 目明かし堂

有限会社 サトウ時計店
http://www.meakashi.com

スマホ用QRコード

GS ● ●タクシ

お買い得駐車場
よかる
松本橋内店
佐藤時計店

紫波町日詰字郡山駅209 ☎676-2838 日詰バス停前

口コミが
一番ホット
します

相心館 **Kami Hikoki**

デザインを少し変えてみてください
ナチュラルなメイクで春を感じます

他は予約時に
確認ください

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺宇古屋敷 6-31
TEL019-676-5825
E-mail kamihikoki@posh.jp

OPEN 8:40
CLOSE 18:00

定休日 4月15日・21日・22日・29日
5月5日・6日

もっとお得な
メール会員募集中

QRコード

古館駅
●中島店
●ローソン たまり 本郷医院
●花柳 4号線 至道南

シリーズ
行ってみよう

移動図書館かたくり号から見える町の風景

このコーナーでは、移動図書館かたくり号で町内を巡回している図書館司書の皆さんが、町内のおすすめの景色を紹介するコーナーです。また、併せて毎月の企画展などの図書館情報もお伝えします。



南面の桜



南面の桜にまつわる恋物語が掲載されている『グラフィック日本の民話 17巻』(研秀出版/発行)

県北から越してきて、町内を巡る中で好きになった景色の一つが、赤石地区桜町の風景。かたくり号に乗って、日詰商店街を南に抜け、ゆるやかなカーブを進むと、桜のピンク色が目の前に広がる瞬間が訪れます。移り住んできたばかりのころ、「桜町」という地名と風景とが本当にぴったりだったので、素敵だなと思いました。そして、桜並木の最後には、恋物語の残る志賀理和気神社の「南面の桜」の木が、私たちの乗っているかたくり号が通り過ぎるのを見守ってくれています。桜の開花はもうすぐです。皆さんも、この美しい景色を見に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



女鹿晴之介さん(司書)
一戸町奥中山出身。一戸町立図書館を経て紫波町図書館へ。趣味は、体力づくりをかねてのランニング。

企画展のお知らせ



児童企画展示 「スタートだね」

春は始まりの季節。元気に新しいスタートをきるための、春や入園・入学にまつわる本を集めました。



一般企画展示 「続・土いじりのすすめ」

3月に引き続き、この季節から取り組める家庭菜園や園芸などの本を展示・貸出します。

4月